

No.147

確かな研究力をベースとした教育力

- 01 学長メッセージ・各種受賞
- 02 室工大 大学ランキング
- 03-04 学生の表彰
- 05 室工大OB・OG訪問
- 06 附属図書館リニューアルオープン!!
- 07 室工大学生広報スタッフ紹介
- 08-10 TOPICS

蘭 丘

国立大学法人 室蘭工業大学 広報誌



インスタで室蘭工業大学の魅力発見！学生フォトコンテスト2022・学長賞 原田 耕太さん



国立大学法人

室蘭工業大学

MURORAN INSTITUTE OF TECHNOLOGY

創造的な科学技術で夢をかたちに

本学の強みは確かな研究力をベースとした教育力 —大学院進学率50%を目指して—

本学の強みは教育力の裏付けとなる確かな世界水準の研究力です。例えばコンピュータ科学分野の論文被引用率は5年連続で日本1、2位を競っており(朝日新聞出版「大学ランキング2023年版」)、代表的世界大学ランキングであるTHEの世界大学ランキングでは5年連続でランクイン(2023年度版では1501+位)(日本の国立は57大学)、さらに嬉しいことにQSのアジア世界大学ランキングにも2年連続でランクインし、451~500位でした。

本学はこの「確かな研究力」をベースとした教育力をもって、熱意あふれる教授陣が、教科書の行間に潜んでいる科学や工学

の面白さを学生諸君に専門家の立場から伝えます。本学教授陣の研究力は、大学院での教育でさらに力を発揮します。本学では、学部に入學した学生諸君の大半が大学院まで一貫した、国立の工業大学としての「確かな研究力」をベースとした教育力を体験・学修いただけるよう、大学院進学率50%を目指しています。

教職員一丸となって、理工系人材の育成、イノベーションの創出につながる研究、そして延べ4万人を超える同窓生の社会での活躍とともに、地域共創・活性化の中核としての役割を果たすべく、決意をもって進みます。

各界のご支援とご協力をお願い申し上げます。

室蘭工業大学長
空閑 良壽



研究者の各種受賞をまとめて紹介します!

飯森 俊文准教授が光化学協会賞を受賞

受賞題目 分子およびナノ粒子の光物理過程の解明と光機能の研究

光化学協会賞は、光化学の研究において顕著な業績をあげた50歳未満の光化学協会会員に授与されるものです。光化学協会は1976年に創設され、光化学、光技術領域の基盤研究から、幅広い応用技術を担う専門家集団および光化学の情報発信基地として発展している学会です。



木幡教授が、経済産業省「令和4年度産業標準化事業表彰—産業標準化貢献者表彰(産業技術環境局長表彰)」を受賞

受賞
コメント

これら標準化活動に対して、ご支援、アドバイス等頂いた関係各位に感謝申し上げます。特に、今回の表彰に関して、ご推薦頂いた公益社団法人 地盤工学会に厚くお礼申し上げます。

今後とも、地盤工学分野のISO活動やJIS制定活動において、わが国の国益を念頭に、標準化活動を継続して社会貢献に尽力する所存ですので、変わらぬご支援、ご協力のほど、よろしく願い申し上げます。



とう めん ゆう 董 冕雄副学長(しくみ解明系領域・教授)と太田 香教授(しくみ解明系領域・ 文部科学省卓越研究員)がHighly Cited Researchers 2022に選出

イノベーションを加速する信頼性の高い知見や分析を提供する世界的リーディングカンパニーのクラリベイトにより、高被引用論文著者(Highly Cited Researchers)2022年版として選出されました。



本学発ベンチャーである株式会社コアラボ(代表取締役 中野 浩幸)が、 令和4年度北海道新技術・新製品開発賞において、ものづくり部門奨励賞を受賞

受賞
コメント

消石灰散布にとまなう肉体的・精神的な負担を少しでも軽減できれば、この想いから「リトアクア」はうまれました。多くの畜産関係者からいただいた期待の声、助言がなければ商品化には至らなかったと思っています。今回の受賞を励みに、消石灰の必要性を広く知ってもらおう活動をこれまで以上に進めるとともに、新たな防疫資材の開発に注力します。



神田 康晴准教授が令和4年度北海道科学技術奨励賞を受賞

受賞内容「持続可能な社会を構築するための環境触媒の開発」

北海道科学技術奨励賞は、本道を主な拠点として本道の発展に寄与する科学技術上の優れた発明、研究等を行い、今後の活躍が期待される若手研究者に対し、知事表彰として贈呈されるものです。



2023

室工大 大学ランキング

RANKING

THE世界大学
ランキング2023

QSアジア大学
ランキング2023

学術分野別「Engineering」



QSアジア大学ランキングは、英国の高等教育専門調査会社(QS Quacquarelli Symonds Limited)が毎年発表しており、「学術研究者による評価」「企業等の雇用者による評価」などの指標を取り入れた、世界で最も参考にされている世界大学ランキングの一つです。

「THE世界大学ランキング」※1では、世界各国の大学をランク付けし、本学が1001位+にランクイン。また、日本の大学は79校がランクインし、本学は22位タイに位置しています。

※1 イギリスの高等教育専門誌「THE(Times Higher Education)」

世界順位	国内順位	大学名
34	1	東京大学
68	2	京都大学
80	3	東北大学
92	4	東京工業大学
176-200	5	九州大学
201-250	6	大阪大学
251-300	7	名古屋大学
401-500	8	北海道大学
401-500	9	早稲田大学
501-600	10	筑波大学

601-800	11	慶應義塾大学
801-1000	12-21	広島大学 / 山形大学 / 九州工業大学 東京理科大学 / 琉球大学 / 神戸大学 / 法政大学 信州大学 / 東京農工大学 / 横浜国立大学
1001+	22-79	豊橋技術科学大学 / 芝浦工業大学 / 立命館大学 / 大阪公立大学 富山大学 / 電気通信大学 / 静岡大学 / 金沢大学 / 豊田工業大学 京都工芸繊維大学 / 熊本大学 / 東京都立大学 / 長岡技術科学大学 名古屋工業大学 / 大阪工業大学 / 上智大学 / 香川大学 / 高知工科大学 岡山大学 / 千葉大学 / 長崎大学 / 埼玉大学 / 宮崎大学 / 東海大学 山口大学 / 山梨大学 / 中央大学 / 室蘭工業大学 / 佐賀大学 / 愛媛大学 東京海洋大学 / 名城大学 / 岐阜大学 / 徳島大学 / 福岡大学 / 新潟大学 三重大学 / 明治大学 / 群馬大学 / 鹿児島大学 / 中部大学 / 茨城大学 岩手大学 / 宇都宮大学 / 福井大学 / 青山学院大学 / 東京都市大学 秋田大学 / 工学院大学 / 鳥取大学 / 兵庫県立大学 / 同志社大学 関西大学 / 島根大学 / 神奈川大学 / 近畿大学 / 千葉工業大学 東京電機大学

451-500位

「THE世界大学ランキング」と「QSアジア大学ランキング」の両方にランクインしている北海道の大学は室蘭工業大学と北海道大学の2校のみです

5年連続 日本1、2位
「コンピューター科学」分野の論文被引用度指数※4

1	岩手県立大学	6	富山大学
2	室蘭工業大学	7	九州工業大学
3	東北大学	8	山梨大学
4	金沢大学	9	熊本大学
5	大阪府立大学	10	会津大学

1501+位 THE世界大学ランキング2023※2

北海道地域では、北海道大学、札幌医科大学についてランクイン

401-500位 THE世界大学ランキング Asia University Ranking 2022

111-120位 THE世界大学ランキング日本版2022※2
(道内大学4位タイ)

さらに「どれだけ教育への期待が実現されているか」を示す「教育充実度」のカテゴリで、93位

道内3位 企業の人事担当者から見た大学イメージ調査※3
(全体23位) 小規模大学ランキング

全国4位 一級建築士合格者数 2021年 国立工業系大学
(道内大学1位タイ)

全国3位 技術士合格者数 2020年 国立工業系大学
(道内大学2位)

※2 出典/イギリスの高等教育専門誌「THE(Times Higher Education)」
※3 出典/「日経キャリアマガジン 特別編集 価値ある大学2022-2023就職ランキング」
企業の人事担当者から見た大学イメージ調査~小規模大学ランキング
※4 出典/朝日新聞出版「AERAムック」大学ランキング2023年版

学生の表彰

第57回地盤工学研究発表会において本学の学生2名が「優秀論文発表者賞」を受賞

【受賞者】市岡 卓磨(川村研究室 M1(発表時))

【受賞者】二階堂 樹(木幡研究室 M2(発表時))

【発表題目】「簡易動的コーン貫入試験によって得られたNd値と各種力学指標との相関」

【発表題目】「巻き込みジオグリッド補強地盤の支持力特性に及ぼす補強体幅・厚さ及び相対密度の影響」



令和4年7月20～22日に新潟市(朱鷺メッセ:新潟コンベンションセンター)で開催された第57回地盤工学研究発表会における論文発表で「優秀論文発表者賞」を受賞しました。

Post Symposium of TOCAT9, 60th Aurora seminar, The 9th International Symposium of Institute for Catalysisのポスター賞を受賞

【受賞者】高橋 佑輔(環境創生工学系専攻 物質化学コース1年)

【発表題目】Noble metal phosphide catalysts for phosphate recycling



令和4年8月1日に開催されたPost Symposium of TOCAT9, 60th Aurora seminar, The 9th International Symposium of Institute for Catalysisにおいて、ポスター賞を受賞しました。



エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞を受賞

【受賞者】稗田 直哉(辻研究室 M1(発表時))

【発表題目】「LSE モードを利用したNRD ガイド素子のトポロジー最適設計」



令和4年3月15～18日に開催された電子情報通信学会総合大会における発表で、「エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞」を受賞しました(授賞式は令和4年9月6日)。本賞は、同大会におけるエレクトロニクス分野の学生の全発表の中から6件のみ(第一分野からは2件のみ)が選出されるもので、提案する解析・設計技術が全国的に高く評価されての受賞です。所属する辻寧英教授の研究室からは令和元年度に続いての受賞です。



ジャパンスチールブリッジコンペティションの架設部門で優勝



9月7日(水)から9月9日(金)に埼玉県ものづくり大学にて開催された「ジャパンスチールブリッジコンペティション2022」において、構造力学研究室の学生で構成されたチームが3年ぶりに出場し「架設部門優勝」という好成績を収めました。参加学生代表の淡路雄一郎さんは、「今大会で本研究室は8度目の出場となり、毎年好成績を残しています。今年度は3年ぶりの参加となり、出場メンバー全員が大会初出場であり、偉大な先輩方が残してきた成績に恥じない成績を残さなければいけないというプレッシャーを感じつつも、チーム全員で協力し合い、今年度は架設部門優勝という結果を残すことができ嬉しく思います。」と話していました。



「ARLISS(アーリス) 2022」にてBest Mission Award 第2位を受賞



9月12日から9月15日まで、米国ネバダ州で開催されたCanSat競技の国際大会「ARLISS(アーリス) 2022」に参加した宇宙系ものづくりサークル 学生宇宙研究開発機構SARDが Best Mission Award 第2位を受賞しました。3か国14チームが参加し、ジュース缶サイズの「CanSat(カンサット)」と呼ばれる超小型人工衛星模擬モデルが、①予め設定された目標地点に向かって自律移動し、どこまで目標地点に近づくかを競う「カムバック コンペティション」部門と、②惑星探査を想定しCanSatが自立制御により行うミッションのアイデア性や達成度に対する参加者、運営、教員による評価の総合点を競う「ミッション コンペティション」部門で競いました。



令和4年度土木学会全国大会第77回年次学術講演会「優秀講演者表彰」を受賞

【受賞者】小嶋 侑(中津川研究室 M1(発表時))

【発表題目】「Elastic Netを用いた利水専用ダムの流入量と貯水位の予測に関する研究」



令和4年9月15～16日に京都市(京都大学)で開催された令和4年度土木学会全国大会第77回年次学術講演会における発表で、「優秀講演者表彰」を受けました。

「MIKA2022最優秀ポスター賞(若手部門)」を受賞

【受賞者】谷口 美緒(辻研究室)

【発表題目】「THz帯の磁性メタサーフェスの自動最適設計に関する研究」



賞の概要

令和4年10月12～15日に開催された電子情報通信学会革新的無線通信技術に関する横断型研究会MIKAにおける発表で、「MIKA2022最優秀ポスター賞(若手部門)」を受賞しました。

日本銅学会第62回講演大会「学生優秀講演賞」を受賞

【受賞者】松永 泰治(材料結晶学研究室 M1)

【発表題目】「Cu-Sn合金メノ粒子の合成とその接合特性」



賞の概要

令和4年10月15～16日に仙台国際センター(仙台市)で開催された日本銅学会第62回講演大会における発表で、「優秀講演者表彰」を受けました。

<受賞コメント>

今回の学会では日々積み重ねてきた研究の成果を発表する機会に加えて優秀賞も頂くことが出来て大変嬉しく思います。今後はこの経験を糧に、より一層研究活動に邁進していきたいと思っております。

日本化学会秋季事業 第12回 CSJ化学フェスタ 2022「優秀ポスター発表賞」を受賞

【受賞者】斉藤 駿介(分子材料学研究室 M2)

【発表題目】「没食子酸誘導体水溶液の下限臨界溶液温度と分子構造との相関」



賞の概要

令和4年10月18～20日にタワーホール船堀(船堀市)で開催された日本化学会秋季事業 第12回 CSJ化学フェスタ 2022における発表で、「優秀ポスター発表賞」を受賞しました。

<受賞コメント>

今回の学会では日々積み重ねてきた研究の成果を発表する機会に加えて優秀賞も頂くことが出来て大変嬉しく思います。また、指導教官である馬渡准教授や分子材料学研究室の皆さんのお力添えもあり、個人ではなく研究室としての受賞だと思っています。今後はこの経験を糧に、より一層研究活動に邁進していきます。

International Congress on Pure & Applied Chemistry Kota Kinabalu (ICPAC KK 2022)「Student Lecture Award」を受賞

【受賞者】野村 未来(有機合成化学研究室 M2)

【発表題目】「Thiourea Fused γ -Amino Alcohol Organocatalyst for Asymmetric Mannich Reaction of β -Keto Carbonyl Compounds with Imines」



賞の概要

令和4年11月22～27日にかけてコタキナバル(マレーシア)で開催されたInternational Congress on Pure & Applied Chemistry Kota Kinabalu (ICPAC KK 2022)における発表で、「Student Lecture Award (学生講演賞)」を受賞しました。

<受賞コメント>

この度は、学生講演賞を受賞することができ、大変嬉しく思います。この表彰は私個人の力ではなく、これまで自分を指導してくださった中野先生、そしてアドバイスをくれた研究室のメンバーの皆さまのおかげであると痛感しております。本当にありがとうございます。

令和3年度土木学会「水工学論文奨励賞」を受賞

【受賞者】川井 翼(中津川研究室 M2(受賞時)、M1(発表時))

【発表題目】「大量アンサンブルデータを用いた急流河川の侵食危険度の評価」



賞の概要

大学院環境創生工学系専攻土木工学コースの学生が、表記の「水工学論文奨励賞」を受賞し、令和4年11月23日～11月25日に松山市(松山市総合コミュニティセンター)で開催された第67回水工学講演会において表彰されました。

土木学会AI・データサイエンス論文集(2022)において「AI・データサイエンス奨励賞」を受賞

【受賞者】小嶋 侑(中津川研究室 M1)

【発表題目】「Elastic Netによるダム流入量予測手法の一般化に関する研究」

賞の概要

土木学会AI・データサイエンス論文集3巻(2022)において、「AI・データサイエンス奨励賞」を受賞しました。

本賞は、革新性・将来性・社会性のいずれかに優れ、今後の期待される論文として、2022年は計5号にわたる総数140件の論文のうち7件が選出され、そのうちの1件となります。

日本高圧力学会主催の第63回高圧討論会で本学の学生が「ポスター賞」を受賞

【受賞者】淡路 功太(関根研究室)

【発表題目】「非充填スクッテルダイト化合物MSb3(M=Co,Rh)の圧力誘起自己充填反応による格子熱伝導率低減効果」



賞の概要

令和4年12月13～15日に立命館いばらきフューチャープラザ(立命館大学 大阪いばらきキャンパス内 大阪府茨木)で開催された日本高圧力学会主催の第63回高圧討論会における発表で「ポスター賞」を受賞しました。

室工大 OB・OG 訪問

室蘭工業大学を卒業後、様々な分野で活躍しておられるOB・OGを紹介します。今回は、佐々木 海人さんにお話を伺いました。



佐々木 海人さん Kaito Sasaki

- 学科名・卒業年・大学院専攻名・修了年／情報電子工学系学科 情報電子工学系専攻 2019年修了
- 出身高校／北海道滝川高等学校
- 勤務先・所属(肩書)／入社年／株式会社北海道ジェイ・アール・システム開発 2019年入社

■学生時代のこと

(1)室蘭工業大学を志望した理由、また卒業された学科(専攻)を選んだ理由

昔からパソコンを触るのが好きで、ソフトウェアの仕組みに興味があり、その知識を深めたいと思い情報系の学科を志望しました。また、高校時代の得意科目だった数学を活かせる進学先を探していたところ、室蘭工業大学の情報電子工学系学科のことを知り、出願することを決めました。

(2)所属研究室・研究テーマ、またそのテーマに興味を持ったきっかけ

インタラクティブシステム研究室(佐賀研究室)で、「ファジィ点群におけるファジィ対称軸抽出法の提案」というテーマで研究を行いました。これは、位置情報のあいまいさを持った点であるファジィ点の集まりから、あいまいさを許容した線対称軸を求めるといった研究です。

この研究テーマは、当時研究室で研究されていたテーマとは少し違う切り口のテーマであったため、この分野を切り開きたいと考えて選択しました。簡単ではありませんでしたが、3年間かけて最後にはある程度形にすることができました。後に後輩がこのテーマの関連研究をしていると聞いた時はとても嬉しかったとともに、改めてこのテーマを選択してよかったと思いました。

(3)大学時代を振り返って、特に思い出に残っていること

所属していた研究室では、大学外からの訪問者向けに研究内容の紹介やその体験会を実施することがよくありました。それらの準備・運営は全て学生が行っており、訪問者に応じて小学生が楽しめるような内容だったり、外国の方用に英語で説明をする準備をしたりと大変でしたが、無事に終了して皆さんに楽しんでいただけた時のことはとても思い出に残っています。



■現在の仕事のこと

(1)就職先として志望された理由、担当されている仕事の内容

現在は、株式会社北海道ジェイ・アール・システム開発という会社で、JR北海道の輸送計画系システムの開発業務にあたっています。室蘭工業大学で学んだ情報系の知識・技術を活かして生まれ育った北海道のためになるような仕事をしたいと思って志望しました。

(2)仕事に面白さ、やりがいを感じるとき

入社後は鉄道に関する用語や独特な考え方についていっただけで精一杯でした。その中で、先輩方にフォローしていただきながら仕事を

進めていき、打ち合わせ等の話の内容が分かるようになった時に面白い仕事だと思えるようになりました。また、自分が開発したプログラムが完成してお客様に使っていただき、微力ながらも鉄道の運行の役に立っていると実感できた時にやりがいを感じます。

(3)在学中に学んだことや身についたことで、現在の仕事に役立っている、あるいはつながっていると感ずること

システムの開発を行う中で、プログラムが意図せぬ動作をした場合など原因の調査が必要になることがあります。その場合、プログラミングに関する知識だけではなくネットワークやセキュリティ面など様々な角度から考える必要があります。その際に必要な幅広い知識は、室蘭工業大学在学中に受講した講義から得ることができたと感じます。



(4)これからの仕事の目標、夢

今はまだ先輩の下について色々な技術や知識を身に付けている段階ですが、将来的には開発プロジェクトをけん引する立場となって、お客様やチームメンバーから信頼されるような存在になるのが目標です。

■在学生へのメッセージなど

(1)室蘭工業大学の印象・期待することを教えてください

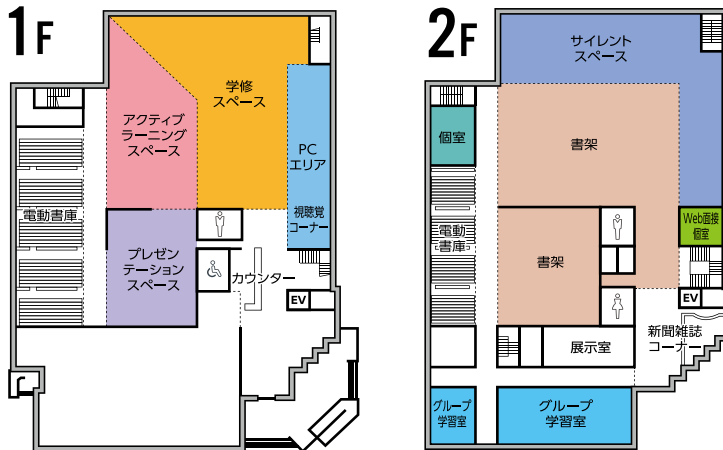
社会人になってみて、室蘭工業大学で学んだプログラミングやプレゼンテーションなどの力をそのまま活かせる場面が多々あり、在学中はとても高いレベルの経験をさせていただいていたと実感しています。私は卒業してから気づく形となりましたが、在学中の皆さんにはぜひその意識をもって、授業や研究に前向きに取り組んでいただきたいと思っています。

(2)在学生に向けて、先輩としてのメッセージ・アドバイスなどをぜひお願いいたします

社会人になると仕事以外に割ける時間がどうしても少なくなるので、長期休暇等時間の取れる今のうちに何かに打ち込んでみてください。先ほども述べた通り、室蘭工業大学では高いレベルの学びを得られるので、その環境を最大限に活かして勉強・研究に費やすのもいいと思います。サークル活動や趣味に時間を費やすのもいいと思います。何かに打ち込んだ経験は就活やその先の社会人生活に活かせると思います。

附属図書館リニューアルオープン!!

FLOOR GUIDE



- ・600㎡の増築。
- ・PC利用に対応するため電源を増設。
- ・冷暖房設備を強化し、LED照明を採用。
- ・カーテンウォールを使用し開放感ある外観へ。

1F アクティブラーニングスペース

組み換え可能なテーブルで、小・中規模のグループ学修や複数のグループによる共同学習におすすめ。

利用者の声

L字型レイアウト席は、プレゼンテーション向きで使いやすい。



1F 学修スペース

ゆったりとしたソファ席を配置し、窓際にはカウンター席も。

利用者の声

・コンパクトな机が増えたので、使いやすくなった。(以前は大きな机だったので、大人数のグループがいると近寄りやすい時があった)
・ソファなどの椅子がグレードアップした。カフェやワークキングスペースのよう。
・カウンター席にはコンセントもあり使いやすい。



1F PCエリア

18台のPCとプリンター1台を設置。

利用者の声

机が大きいので、資料を広げて勉強ができます。



1F プレゼンテーションスペース

気軽に参加できるセミナーなどを開催できる開放的な空間。

利用者の声

・直接書き込めるホワイトボード(壁・衝立型とも)が、地味に便利
・延長コードが豊富にあり、使い勝手が良い



2F 書架

これまで1階と2階に分散していた書架を集約。蔵書は、図書館全体で約30万冊です。

利用者の声

分類別で探しやすい、蔵書も豊富。



2F サイレントスペース

個人席が設けられており、静かに学修できます。

利用者の声

キャレラデスクには全席に個別照明と電源コンセントがついて快適です。



2F 個室(4室)

サイレントスペースと違って完全個室。一人で集中して学修ができます。

利用者の声

静かで勉強に集中できる。エアコン完備で快適です。



2F Web面接個室(4室)

個人でWeb面接などを行う際に利用できる部屋。

利用者の声

自宅に戻る時間がない時など、就活の面接で使ってみたい。

2F グループ学習室(4室)

5~20名程度でグループ学習を行えます。

利用者の声

レイアウトを自由に組めるので使いやすい。例えばサークルのミーティング等でも利用してみたい。





室蘭工業大学

学生広報スタッフを紹介します！



室蘭工業大学では、学生目線で大学の魅力を発信するため、昨年8月から学生広報スタッフ「むろこーほー」の活動が始動しました。大学Twitterでの投稿や公式YouTubeによる企画動画の作成、学外イベントでの広報活動や室工大カフェTENTOと図書館とのコラボ企画など様々な活動をしています。

任命式



テレビ局の取材

秋の進学相談会 in 東京



図書館 de TENTO

図書館 de TENTOを実施しました！
2日合わせて70名以上の利用がありました。
<https://muran-it.ac.jp/guidance/info/post-44793/>

オリジナルタンブラー & ムロびよん

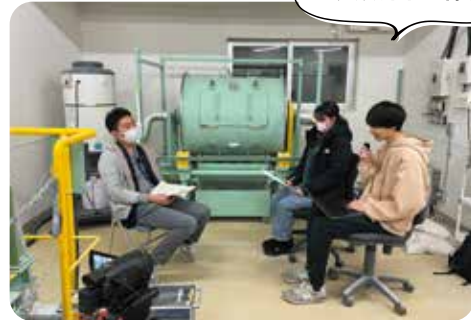
TENTOカウンター



とかち宇宙ビジネス アイデア会議



研究動画の作成



そしてなんと!「むろこーほー」の企画で、大学公式キャラクター「ムロびよん」がLINEスタンプになりました!1月30日から発売しています。学生生活で使い易いワードから、室工大生ならではの単語、北海道弁を話すムロびよんなど、盛りだくさんの内容で、かわいいムロびよんに癒されること間違いなしです!

スタンプは1セット24種類で、250円で販売しています!LINEストアやLINEのスタンプショップから購入できます。

今後も「むろこーほー」の活躍から目が離せません!

LINEスタンプ
<https://store.line.me/stickershop/product/22113034/ja>



ミーティング風景





01 第62回工大祭を開催

“工大祭に関わるすべての方々が「楽しい」という感謝の気持ちを込めた拍手を送り合う工大祭となりますように”という願いが込められた「来楽譜(クラップ)」をテーマに掲げて、9月17日(土)・18日(日)の2日間、第62回工大祭が開催されました。

コロナ禍の影響により3年ぶりの開催となりましたが、感染症対策を徹底して、各サークル等による展示会・模擬店・ライブや、大学祭実行委員会によ

る恒例のお菓子まき・ジンギスカンの無料配布等、様々な催しが行われ、両日の来場者は延べ千名を超えました。

開催日2日目の天候には恵まれなかったものの、開催形態を工夫する等、大学祭実行委員会を中心に一致団結することで、両日とも大きな混乱もなく無事終了しました。



▲お菓子まきの様子

02 北海道宇宙サミット2022が開催されました

令和4年9月29日(木)に帯広市で北海道宇宙サミット2022が開催されました。

北海道宇宙サミットは、宇宙と様々な産業とのつながりをつくる日本最大級の宇宙ビジネスカンファレンスで、当日は本学もブースを出展しました。

室蘭工業大学からは航空宇宙機システム研究センター長の内海教授と航空宇宙機システム研究室

の学生、大学職員、学生広報スタッフが参加し、大学のブースに訪れた来場者に対し、本学の活動をPRしました。

また、ライトニングトークでは内海教授が登場し、研究内容や大学での実験などについてプレゼンしました。



▲内海教授のプレゼンテーション

03 第28回・第29回蘭岳セミナーを開催しました

令和4年10月14日(金)に第28回蘭岳セミナーを、教育・研究3号館N401講義室とオンラインのハイブリット形式で開催し、会場及びオンラインで約70名が参加しました。

第28回は、東北大学の戸田雅子氏を講師に招き、「食物アレルギーのはなし」と題して、最新の研究をわかりやすく講演いただき、講演後の質疑応答では、会場の参加者からの質問に対して丁寧な説明がありました。

11月25日(金)に第29回蘭岳セミナーを、教育・研究1号館A304講義室とオンラインのハイブリット形式で開催し、会場及びオンラインで約110名が参加しました。

第29回では、東京大学生産技術研究所所長・教授の岡部徹氏を講師に招き、「レアメタルの過去・現在・未来」と題して、レアメタルの需要や生産などに関する現状と課題、レアメタルに対する誤解や偏見、さらには日本では知ることができない裏の問題についてわかりやすく講演いただき、参加者は興味深く聴き入っていました。

講演途中には大学院工学研究科博士後期課程工学専攻先端生産システム工学コース1年の平澤龍さんとの質疑も交えつつ、会場を巻き込んだ講演は、質疑の時間が足りなくなるほど盛り上がりました。



▲講演する戸田氏



▲第29回会場の様子

04 第45回・第46回蘭岳コンサートを開催

令和4年10月16日(日)と12月10日(土)に、大会館多目的ホールにおいて蘭岳コンサートを開催しました。両回ともに教職員、学生及び市民約60名が演奏を楽しみました。

第45回コンサートは、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年12月以来の開催となり、ギタリストの佐々木巖さん、ピアニストの高木洋子さんをお招きしました。「ロマンス～「禁じられた遊び」より」、「ある貴神のための幻想曲より 第2楽章及び第4楽章」、「アランフェス協奏曲」等が演奏され、来場者は美しい楽器の音色に耳を傾けていました。

第46回コンサートでは、ピアニストの大築恵さ

ん、チェリストの中島杏子さんをお招きし、「愛の言葉」、ピアノソナタ第11番K.331より第3楽章 トルコ行進曲、「ルーマニア民族舞曲」、「ハバネラ形式の小品」等が演奏され、来場者は生演奏の音色に耳を傾けていました。

今回のコンサートにおいて、「令和4年8月3日からの大雨災害義援金」をお願いした結果、皆様から寄せられた義援金は、第45回では8,810円、第46回では5,800円となりました。ご協力いただきました皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、ご報告を申し上げます。



▲第45回コンサートの様子



▲第46回演奏の様子

05

「アシルトイタによる心と体に響く新しい食の価値共創拠点」のキックオフイベントを開催しました

室蘭工業大学が、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）の代表機関として、新しい食産業と食文化を発信するプロジェクトのキックオフイベントを開催しました。

「アシル」とはアイヌ語で「新しい」という意味です。「トイタ」は「土地を耕す」ことを意味します。

イベントには約70名が出席。空閑学長は「確かな研究力を活かして、北海道そして白糠町の基幹産業である食産業に、大学や参画企業が持つサイエ

ンスやテクノロジー、そしてこの自然豊かな地に生きてこられたアイヌの先人たちの知恵を結集し、10年、20年先を見据えた食のイノベーションを巻き起こしていきたい」と話し、プロジェクトリーダーの徳樂清孝教授は「付加価値の高い作物を栽培することで、1次産業を担う若者を増やしたい」と意気込みを述べました。

最後に、白糠町長をはじめとした幹事機関の方や白糠高校の生徒らが、プロジェクトのシンボルとなる旗に署名し、成功を願いました。



▲プロジェクトの成功に向けこぶしを挙げる参加者

06

2024卒対象 合同業界研究会開催!

室蘭工業大学キャリアサポートセンター主催による学内合同業界研究会を、体育館で、対面ブース形式にて開催しました。

令和4年11月12日(土)13日(日)は、北海道の企業170社が、11月19日(土)20日(日)は、道外の企

業240社が学内説明会を開催しました。

毎年4日間で3千人以上(延数)の学生が参加する本イベントでは、多くの企業と学生のマッチングが実現しています。



▲会場の様子

07

地域PBL発表交流会を開催

令和4年11月13日(日)に、北海道若者活躍プロジェクトが主催して、地域PBL発表交流会を開催しました。

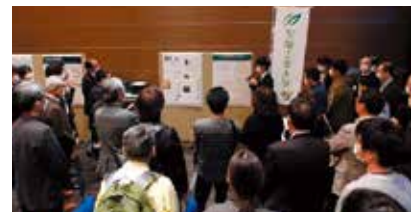
本会では、「学生と企業がミライの北海道を考える地域課題解決プロジェクト」と題して、同プロジェクトに参加する大学・高専の学生が地域課題の解決を目指し考案したアイデアや実際の取組み(地域PBL)について発表し意見を交わしました。

今年は、3年ぶりに対面形式により札幌(北洋銀

行セミナーホール)で開催し、学生、企業等から28機関、66名の方々にご参加いただきました。

第1部では、大学3校・高専3校の学生7チームが、スライドにより地域PBLの取組みの概要を説明しました。

第2部では、7チームのブースごとに、ポスターや試作模型を使って学生自身が考案したアイデアの具体的かつ詳細なプレゼンテーション後、参加者との意見交換が展開されました。



▲ポスターによるプレゼンテーション

意見交換終了後は表彰式があり、苫小牧工業高等専門学校アイデア「工場内の呼び出しシステムモデル」が最優秀賞に選ばれました。

08

ルートインBCリーグ2022ドラフト会議 佐藤悠津樹投手(創造工学科4年)が福島レッドホープスから4位指名!

硬式野球部のエース、佐藤悠津樹投手(創造工学科4年)が、令和4年11月17日に開催されたプロ野球独立リーグの「ルートインBCリーグ2022ドラフト会議」で、福島レッドホープスから4位指名を受けました。

N棟前広場にあるモニュメント「新しい風」で行われた広報室による取材に対し、佐藤投手は「室蘭工業大学からでも成長し、プロを目指せるという強い

気持ちを持っていた。日々、野球と勉強を両立させ、練習に取り組んできました。入団後はチームのエースを張れる選手になり、NPBを目指したい」と力強く語りました。

佐藤投手は、来年3月に福島レッドホープスに合流し、トレーニングなどを始める予定となっております。



▲福島レッドホープスのエースになりたいと語る佐藤投手

09

室蘭栄高校と高大連携に関する協定を締結しました

令和4年11月24日、本学と室蘭栄高校は「高大連携に関する協定」を締結しました。室蘭栄高校は、スクールミッション「向学心や探究心を身に付け、新たな社会的価値や科学技術分野の発展に貢献できる生徒を育成」の実現のため、より教育効果の高い特色ある教育活動の展開を目指しており、本学との連携をより強化したいとの申し出がありました。

本学としても積極的に協力することを通じて、これまで培ってきた連携関係を一層発展させ、高大

接続の新たな可能性を探り、理工系分野の興味や関心を高めて理工系へ進学する生徒が増加することにつながればと考えています。

本学と高校との協定は、今回が初めてとなります。今後は、令和5年4月から、室蘭栄高校の意欲のある生徒を本学の環境、防災、MONOづくり各分野の社会課題解決型の研究室で1研究室あたり3~4名程度を受け入れる予定です。



10 第2回定例記者懇談会を開催しました

令和4年12月8日(木)、大学会館の多目的ホールにて、第2回定例記者懇談会を開催しました。

記者懇談会は、報道機関の皆さまとの相互理解や、定期的な意見交換の場になることを目的としたものです。

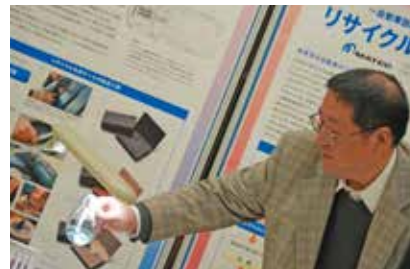
今回は、室蘭工業大学希土類材料研究センターと、株式会社マテック(本社:帯広市)が共同で取り組んでいる「希土類(レアアース)」のリサイクル事業、リサイクル資源を使用した高付加価値の新商品の発表を行いました。

同センターでは2016年から希土類の可視化に取り組んでおり、自動車窓ガラスのリサイクルで、

(株)マテック、(株)深川硝子工芸(小樽市)、道立総合研究所(札幌市)と共同研究を行い、ガラス工芸品として商品化してきました。

今回、発表される新商品は、再び新しくという意味の「Re:Neo(リ・ネオ)」と名付けられ、ハイブリッドカーのバッテリーに使用されているレアアース(ネオジウム:Nd)をリサイクルしたもので、世界初の試みとなります。

同センター葛谷俊博准教授は「リサイクルの技術を確立できれば、高価なレアアースを低コストで国内循環させることが可能になる」と語りました。



▲新製品のガラスを手にする葛谷俊博准教授

11 リサイクルレアアースを利用したリサイクルネオジウムガラスRe.Neo 新発売 ～ 廃棄物から付加価値の高い商品をつくる「アップサイクル」の象徴的作品～

室蘭工業大学と、株式会社マテックが共同で取り組んでいる「希土類(レアアース)」のリサイクル事業、リサイクル資源を使用した高付加価値の新商品であるリサイクルネオジウムガラスRe.Neo(リ・ネオ)を令和5年1月15日(日)から販売しました。

●ガラスは、再び新しくという意味の「Re.Neo(リ・ネオ)」と名付けられ、ハイブリッドカーのバッテリーに使用されているレアアース(ネオジウム:Nd)をリサイクルしたもので、ガラス工芸品の商品化は世界に類を見ない試み

●リサイクルネオジウムガラスRe.Neo(リ・ネオ)販売価格は16,000円(税別)

●販売場所:MATEC PRODUCTS、MATEC PRODUCTS STORE(オンライン販売)、室工大カフェTENTOなど

Re.Neoは、室蘭工業大学希土類材料研究センターが研究統括、廃車となったハイブリッド車(HV)のニッケル水素電池を株式会社マテックが工場で破碎、ネオジウムを抽出し、株式会社深川硝子工芸が製品化しました。



▲太陽光の下では紫色に、蛍光灯の下では水色に変化します。

12 第52回室蘭工大国際セミナーを開催しました

令和5年1月20日(金)に第52回室蘭工大国際セミナーをオンラインにて開催しました。

今回は、本学国際交流センター准教授の白 尚輝氏による「多様な言語の世界へのお誘い～消滅危機に瀕している少数言語を中心に～」という題目で講演を行いました。

講演では、ロシアと中国の広い地域に分布して

いるツングース諸語のうち、話者数が100人に満たないと言われている少数言語「ウデヘ語」を中心に、日本語と比較した文法の違いから、現地の方々との交流や恩師との出会い等、実体験を交えた講演をいただき、参加した約45名の教職員、学生及び一般市民は興味深く聴き入っていました。



13 室蘭工業大学とインターステラテクノロジズ株式会社が包括連携協力協定を締結

令和5年1月23日、室蘭工業大学とインターステラテクノロジズ株式会社は、包括連携協力協定を締結しました。

本協定は、これまで以上に相互の発展に寄与するとともに、社会に貢献する技術開発に資することなどを目的として、主に次の6項目について協定を結びました。

- (1) 人材育成に関する各種活動
- (2) 相互の広報活動
- (3) 共同研究の推進
- (4) 相互のニーズ及びシーズの提供
- (5) マッチングに関する各種活動
- (6) その他、本協定の目的達成のために必要と甲乙が認めたもの

【両者コメント】

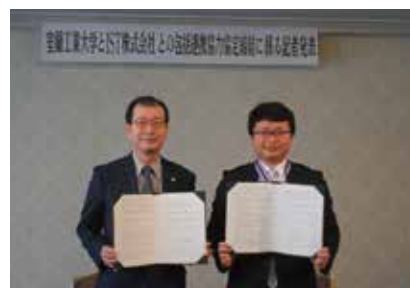
室蘭工業大学 航空宇宙機システム研究センター長 内海政春教授

今までの共同研究の枠組みを発展させて、これからは包括連携協力協定のもとでさらに多面的に取り組んでいきたいと思えます。本学としては研究開発成果創出、人材育成、ロケット製造サプライチェーン構築などを推進します。夢の実現への道を一緒に切り拓いていけることを楽しみにしています。

インターステラテクノロジズ株式会社 代表取締役 稲川貴大社長

大樹町に拠点を置く室蘭工業大学とはこれまでも共同研究を進めてきて、一番難しい「ZERO」のターボポンプの開発を、荏原製作所も加えた三

人四脚の体制で進めてきました。今後はより広範に材料研究、人材育成などについてもタッグを組み、ZEROの開発を促進することで北海道の地域を盛り上げられることを楽しみにしています。



▲室蘭工業大学空閑学長(左)とインターステラテクノロジズ株式会社稲川社長

室蘭工業大学の寄附の受入

国立大学法人室蘭工業大学教育・研究振興会

皆さまとのつながり、ご支援の輪によって、経済的に困窮する学生や留學生など多くの学生が就学に専念することができています。

本学の理念・目標の達成を目的とし、本学の教育・研究の発展に資するとともに、地域及び我が国の経済・社会文化の発展に寄与することを目的として平成17年11月に設立し、みなさまにご支援いただいております。

教育・研究振興会支援事業

○学生等修学支援事業

経済的理由により修学が困難な学生等を対象とした授業料等の減免、奨学金の給付、海外渡航支援、新型コロナウイルス発生に伴う経済的困窮学生支援

○研究等支援事業(令和4年度新設)

学生や不安定な雇用状態にある研究者を対象とした公募プロジェクトにおける研究活動に要する費用補助、研究活動の成果発表に関する必要なものの補助、研究者の資質及び能力向上のための研究者間交流の促進

○成績優秀者奨励事業

成績優秀者への奨励金

奨学寄附金制度

室工大の教育研究を社会に還元します。

未来への投資をしてみませんか？

大学が企業や個人から教育研究の奨励を目的とする寄附金を受け入れて、学術研究や教育の充実・発展に活用する制度です。この寄附金は、受入年度を超えて使用することができ、寄附の趣旨に沿って教育研究上必要な使途に幅広く使用が認められております。

税制上の優遇措置について

個人や法人からの国立大学法人に対する寄附につきましては、当該寄附が国立大学法人法第22条第1項に規定する国立大学法人の業務のうち第1号から第5号までに掲げる業務に充てられるものの全額について、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄付金(所得税法第78条第2項第2号)又は法人税法上の全額損金算入を認められる指定寄附金(法人税法第37条第3項第2号)として財務大臣から指定されます(昭和40年大蔵省告示第154号)。したがって、これらの寄附につきましては次のような税制上の優遇措置が講じられることとなります。

法人からの寄附

教育・研究振興会への寄附、奨学寄附金による寄附のいずれも、寄附金の全額を法人税法上の損金に算入することができます。

個人からの寄附

平成28年度の税制改正により、学生の修学支援の寄附に対する所得税の軽減措置が拡充され、税額控除という新しい制度が導入されました。

本学ではこの税額控除制度が適用されますので、個人が本学に寄附いただいた場合、確定申告時に寄附者の税額が従来よりも大幅に軽減されることとなります。

寄附の方法

▼教育・研究振興会への寄附はこちらから

<https://muroran-it.ac.jp/guidance/compliance/kkshinkou/>
☆クレジットカード払いにも対応しております。

▼奨学寄附金制度での寄附はこちらから

https://muroran-it.ac.jp/society/ciulg_rc/s_donations/

公開講座・室工大サイエンススクール・ 社会人研修プログラムのご案内

室蘭工大では地域の方々を対象に大学の施設を開放して、公開講座、室工大サイエンススクール、社会人研修プログラムを実施しています。実施内容や開催時期については、大学ホームページに掲載していますので、是非、一度ご覧ください。

公開講座

広く地域の方々を対象に、生涯学習の一環としてさまざまなテーマによる参加・体験型の講座

https://muroran-it.ac.jp/society/extension_lecture/



室工大サイエンススクール

地域の小・中学生を対象に、「科学技術」や「ものづくり」に興味や関心をもってもらうための体験型プログラム

https://muroran-it.ac.jp/society/ss_mit/



社会人研修プログラム

社会人の技術や教養・文化の向上に資することを目的に実施するプログラム

<https://muroran-it.ac.jp/society/re-education/>



企業等広告募集のご案内

室蘭工大では、学内に有する施設・設備、デジタルサイネージ、その他本学が発行する広報誌等に対して、ネーミングライツや企業等の広告を募集しています。企業、商品及びサービスなどの宣伝・広報、学外イベントの告知など、様々な用途にご活用いただけますので、この機会に是非ご検討ください。

なお、詳細については、本学ホームページのメールフォームよりお問合せください。

<https://muroran-it.ac.jp/guidance/about/contact/>

本学の最新情報(イベント、大学案内、入試案内、学生生活等)については、
公式ホームページ及び公式Twitterで発信していますので、是非ご覧ください。

公式ホームページ <https://muroran-it.ac.jp/>



公式Twitter https://twitter.com/muroran_it

